

村の自治基本条例メモ



第13話

お問い合わせ
政策調整課(米原庁舎)
☎52-6626 ④52-5195

あつ！そつだ
忘れてた。

米原市自治基本
条例ができたの
が、平成18年9月
1日ですよ。

これにちなんで、
毎年9月1日が記
念日になったのよ
ね。

それに9月を米原
市自治基本条例
記念強調月間にし
てゐるんだよ。

9月1日は何の日
か知ってる？

防災の日！

それと米原市自治
基本条例記念日！

④ 普段の生活や身近なまちの中にあ
たり前のようにあることって、こ
うやって「意識する時」をつくら
ないと、大事な部分を忘れてしま
いがちだよね。

ぼくたちの生活の中にとけこんで
いる条例を一年に一度あらためて
意識することで、米原市がもっと
住みよいまちになっていくってこ
となんだよね。

親子の絆もそつなのよねー！

③ 「強調月間」には自治基本条例を
もっとみんなに知ってもらうため
に、いろいろな広報をするんだよ。

そつだよ。
年に一度、米原市自治基本条例
を意識して、まちづくりについ
て考える機会にしようというも
のなんだ。

確かこの連載が始まったのも、
去年の9月だったわ！

連載 ホットなまちづくりウォッチング

政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をレポートします。

日本折紙飛行士協会

- 連絡先 ☎52-6833
メールアドレス johk@oh-spaps.com
ホームページ <http://www.oh-spaps.com/>
- グループからのメッセージ
年3回、米原公民館で養成講座(次回は11月)を開催しています。折紙飛行士になりたい人は、ぜひご連絡ください。



折紙飛行士養成講座の様子

日本折紙飛行士協会は、2006年4月に会長の岩村さんが設立されました。折紙飛行士の認定や養成講座を行い、紙飛行機作りを通して創意工夫の楽しさを伝えておられます。

1990年代後半から子どもが関連する暗いニュースが目立っていた頃、これからの未来を担う子どもたちが前向きに、夢を持っていけるように、そんな思いを込めて「折紙飛行士」という資格を考案されました。「資格といっても難しいものではなく、遊びの中で取得できるものです。自分の力で何かを得るという経験が子どもたちの自信につながったらうれしい」と、岩村さんは話されていました。

少しの工夫で飛び方が変わる紙飛行機に魅せられ、岩村さん自身も子どものころから紙飛行機で遊ぶのが好きだったとか。最初は、子どもたちのことを考えて作った資格でしたが、養成講座は大人にも大人気です。特に夏休みは、米原市内はもちろん、遠方は兵庫、静岡からも講座の依頼があるそうです。

最近は、紙飛行機を使った対戦やリレー形式のゲーム、大人も楽しめる戦略的なゲームなど考案されています。「滞空時間や飛行距離を競うだけではなく、様々な楽しみ方を提案し、それをたくさんの人に知ってもらおうのが今後の目標です」と、熱い思いを語っていただきました。



岩村さんが高校生のときに開発したスワップ。オリジナル飛行機は100種類以上あるそうです。

お問い合わせ 政策調整課(米原庁舎) ☎52-6626 ④52-5195
掲載希望はこちらまで